

アスピリン「ヤマゼン」 電子添文改訂 新旧対照表

改訂内容（下記の通り）

アスピリン「ヤマゼン」

下線は変更箇所

u003c/divu003e

現行				改訂後			
10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）				10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）			
薬剤名等		臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等		臨床症状・措置方法	機序・危険因子
糖尿病用剤 （ヒトインスリン、ト ルブタミド等）		（略）	（略）	糖尿病用剤 （ヒトインスリン等）		（略）	（略）
非 ス テ ロ イ ド 系 解 熱 鎮 痛 消 炎 剤	オキシカム系消 炎鎮痛剤 （ピロキシカム 等） [7.1 参照]	両剤又は一方の薬 剤の副作用の発現 頻度を増加させる <u>おそれがある。</u>	<u>機序不明</u>	非 ス テ ロ イ ド 系 解 熱 鎮 痛 消 炎 剤	オキシカム系消 炎鎮痛剤 （ピロキシカム 等） [7.1、11.1.7 参照]	両剤又は一方の薬 剤の副作用の発現 頻度を増加させ、消 化性潰瘍、胃腸出血 の発現が高まるお <u>それがある。</u>	<u>両剤ともにプロス タグランジン生合 成阻害作用を有す るためと考えられ ている。</u>
	β-遮断剤 （プロプラノロール	降圧作用が減弱す ることがある。	本剤がプロスタグ ランジン生合成を		β-遮断剤 （プロプラノロール	降圧作用が減弱す ることがある。	本剤がプロスタグ ランジン生合成を

<p>塩酸塩等) <u>アンジオテンシン変換酵素阻害剤</u> <u>(カプトプリル等)</u></p>		<p>抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。</p>	<p>塩酸塩等)</p> <p><u>アンジオテンシン変換酵素阻害剤</u> <u>(カプトプリル等)</u></p> <p><u>アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害剤</u> <u>(サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物)</u></p> <p><u>アンジオテンシンII受容体拮抗剤</u> <u>(バルサルタン等)</u></p> <p><u>直接的レニン阻害剤</u> <u>(アリスキレン)</u></p>	<p>(1) 降圧作用が減弱することがある。</p> <p>(2) 腎機能を悪化させるおそれがある。</p>	<p>抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。</p> <p>(1) 本剤がプロスタグランジン生合成を抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。</p> <p>(2) 本剤の腎プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下するためと考えられる。</p>
<p>ザフィルルカスト</p>	<p>(略)</p>	<p>(略)</p>	<p>(削除)</p>	<p>(削除)</p>	<p>(削除)</p>